

ふいーるど

神戸フットボールパーク岩岡をご存知？

施設

フットボールパークのいま

平成18年1月、どしゃ降りの雨の続くなか待望のグラウンドをオープンしました。地元・岩岡町の皆さんのご協力を得ながら、春休みには遠く長野からもチームを迎え中学生の大会を実施。6月、少年の夢の大会「全日兵庫県予選大会」をユニバー記念競技場とのセットアップで開催など、多くのサッカー仲間にも順調に利用していただいています。



この施設をかいつままで紹介しようと…ピッチはいまのところクレー面ですが広さは完全に国際基準。どしゃ降りの雨でも水はけは抜群。また、応援の皆さんのための「テント村」を含み、周囲もゆったりとしたスペースを確保。

協会スタッフが、ある日、音ひとつ無い漆黒の闇夜から夜明けまで過ごしたときのこと。町のひとは一人も訪れる事なく、数羽のカラスのみが表敬訪問。足が3本かどうだったかは不明ですが、神戸のサッカーを守りに来てくれたのは間違いありません。

プレハブながら少しずつ管理棟・更衣棟を増設中。

建設を当初から陣頭指揮してきた施設委員長・少年委員長の頑張りでいるんなもの集められ、環境にやさしいリサイクル広場となり、また、心癒す一大拠点とも化しています。ウォーミングアップ場の一角の芝生に挑戦。狭い範囲ながらなんと根付き、ゴールキーパーのアップに最適です。これは同じく協会スタッフが、梅雨時真っ盛りの中、旧いふぎグラウンドから手運びしてきたものです。永島選手・キングカズほかヴィッセル神戸の戦士たちの汗と魂の染み込んだ芝生を再現。盛夏、地元の雑草と背伸びがっこを展開中。

駐車は300台OK。他のグラウンドには無い収容力を誇る。

泥沼のような立地部分。廃アスファルト殻を提供いただき現在の姿に漕ぎ着けました。大会に参加したサッカー少年・少女達。ある日突然イチロー化し、敷き詰めたアスファルトを隣の畑にダイレクト送球ごっこ。白菜畑に石の花が咲き乱れたこともありました…自戒…。

そして、これから…

好評だが、ピッチはやや固め。いずれは、一面だけでも人工芝にしたいです。地元の同意が得られれば、ナイター照明も実現し、神戸のサッカー発展の拠点ともしたいと思えます。

給水関係は、足洗い場だけ。クラブハウスを充実し、温水シャワーも使えるように。とくに、女子選手、シニアの方を始め、応援に来てくれる皆さんにも快適なスペースを用意したいと思えます。

現在、神戸協会の登録メンバーの協力に加え、利用者からも一部、施設充実のための協力を頂戴しています。困難な道が続きますが、協会一丸となって、引き続き自前の管理を継続していきます。神戸の、そしてその他多くのサッカーを愛する皆さん。フットボールパーク岩岡に是非一度お越しください。現状でも「神戸での招待サッカーはIWAOKAに限る」との評価を得ています。少年少女・ママさん・シニアまで、いろいろイベントをご計画ください。

サッカー協会では、より設備を充実し、安価なままで神戸のサッカーを楽しんでいただきたいと取組んでいきます。皆さんからも、素晴らしいフットボールパークの変貌に向け、要望・アイデアをお寄せいただければ幸いです。

集まれ！！ 神戸フットボールパーク岩岡に。(文：理事長 榎原徹夫)

ろっかー一む

今回を持ちまして、休刊とさせていただきます。

広報

広報委員会の委員長を仰せつかり、広報紙の編集長をさせていただきましたが、まことに勝手ながら今号を持ちまして広報紙「神戸のサッカー」は休刊とさせていただきます。

方向で進んでいきたいと思えます。短い間ですがご愛読いただきまして有り難うございます。また、ご支援いただいた皆さまに、厚く御礼申し上げます。

今後はWEB版「神戸のサッカー」での情報配信を充実させていく

【文：広報委員会 委員長 松下治正】

WEB版神戸のサッカー <http://www.kobe-fa.gr.jp/>

神戸のサッカーと健康をアシストします。

須磨区医師会 サッカークラブ有志

名谷

てい小児科 (小児科・内科・アレルギー科) ☎078-792-5701 須磨区北落合3丁目28-3

益子整形外科 (整形外科) ☎078-797-3131 須磨区白川台6丁目23-2

妙法寺

高石内科クリニック (内科・小児科・循環器科・消化器科・呼吸器科・放射線科) ☎078-741-2052 須磨区妙法寺寺界地92-11

原医院 (内科・小児科・循環器科) ☎078-743-7300 須磨区横尾1丁目9-1

月見山・須磨寺

清本整形外科クリニック (整形外科・リハビリ科・外科) ☎078-732-1213 須磨区天神町4丁目4-35

林産婦人科診療所 (産婦人科) ☎078-731-0730 須磨区行幸町4丁目2-7

村上眼科医院

(眼科) ☎078-731-0056 須磨区月見山本町1丁目5-26

新須磨病院 (各科・スポーツ外来) ☎078-735-0001 須磨区磯馴町4丁目1-6

坂宿

梶川眼科医院 (眼科) ☎078-732-0091 須磨区前池町3丁目4-1

益子産婦人科医院 (産婦人科) ☎078-732-4103 須磨区戎町3丁目5-15

《モットー》 患者さんに優しく易しい病院

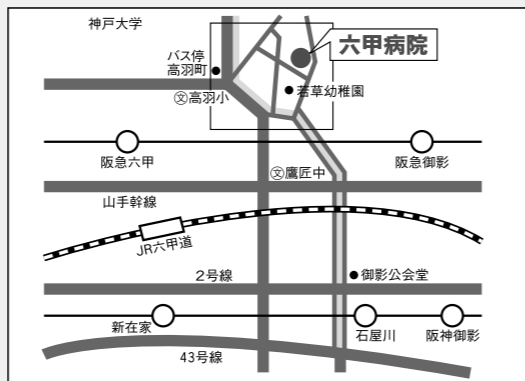
国家公務員共済組合連合会

六甲病院

〒657-0022 神戸市灘区土山町5番1号 TEL 078-851-8558 FAX 078-851-3906 <http://kkrorjip/rokkou>

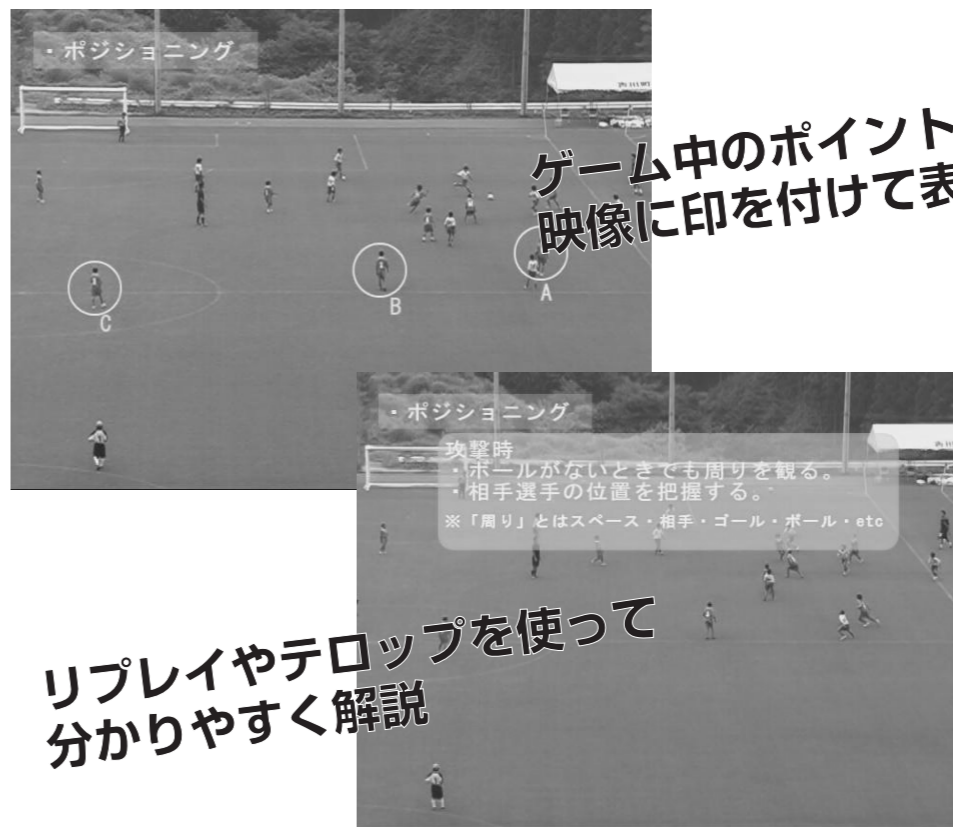
〈診療科〉 内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・外科・整形外科・リハビリテーション科・緩和ケア(ホスピス)科・眼科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・東洋医学科・健康管理センター(人間ドック) スポーツ外来

〈六甲病院への交通〉 阪神御影・JR六甲道・阪急六甲から神戸市営バス⑩六甲ケーブル下行き。高羽町下車。陸橋渡る。徒歩5分



技術委員会 テクニカルDVD作成!

2006年度各種登録チームに配布



リプレイやテロップを使って 分かりやすく解説

このテクニカルDVDは我々神戸市サッカー協会技術委員会が2005年度に掲げた改革のテーマでもある“テクニカルレポートの作成”に対する具現化です。

このDVDには2005年度の1年間における神戸市の選手たち(今年度は4種に特化)の現状を伝える映像を盛り込み、解説を加えてあります。これは神戸市サッカー協会が発信する1年間のテクニカルレポートであると同時に今後神戸の子供たちが改善していくべきウィークポイントを示した“育成指針”として捉えて頂きたいと思えます。

このDVDでは飛騨古川と龍野中河原公園で撮影した小学5年生男子選抜の映像と、しあわせの村で撮影した小学6年生女子選抜の映像を使っています。DVDの前半部分は“今後の課題”としてとらえた『改善したいプレー』を、ハーフタイムを挟んで後半部分は神戸市の多くの選手に理解して欲しい『良いプレー・目指して欲しいプレー』を集め、矢印や影・テロップ等で解説してあります。

今回のテロップに関しては指導者に観て頂きたい文言もあれば子供にとって理解しやすいような言葉を使っているところもあります。そしてあえて昨今、日本サッカー協会が発信している“サッカー用語”もそのまま使用しています。もし聴きなれない言葉があったら皆さんで調べてください。そしてディスカッションをしてください。さて、皆さんがご覧になった後、様々な意見が出てくる

神戸のサッカー

第20号 2006.9.1 (最終号)

発行：神戸市サッカー協会 〒651-0085 神戸市中央区八幡通2丁目1-10 三木記念神戸市スポーツ会館内 TEL (078)232-0753 FAX (078)232-4647 企画・制作：神戸市サッカー協会広報委員会 発行責任者：榎原 徹夫 一部 100円

ものと思えます。我々のメッセージと違う意見もあるでしょう。また納得していただける映像もあるでしょう。しかし我々はそれでこそこのDVDを作成した価値があると思っています。各チームのスタッフ間ディスカッションに、また選手に対するミーティングの材料にと用途はお任せいたします。ぜひこのDVDを有効に活用して頂ければ幸いです。

基本をきちっと習得した子供が中学・高校と成長するにつれ、より強く・より速く・より正確なプレーが出来るように鍛えられ、やがては日本を代表する選手へと育てて行く。こういった選手が神戸市・兵庫県から生まれ、そしてこういった選手を育てる組織・ノウハウが神戸市・兵庫県にはある、そういう姿を求め努力をしていきましょう。

我々指導者は全く“同じ”になる必要はありません。個性は大切です。しかしサッカーのベースとなる部分のベクトル合わせはしたいものです。また皆さんと我々がディスカッションをする必要もあると思えます。ぜひご意見をください。

神戸市サッカー協会技術委員会委員長 昌子 力 (JFAナショナルトレセンコーチ)

きっくおふ!

神戸市総合体育大会は、本庄中学及び平野中学の両者優勝!

2種

7月22日(土)王子公園競技場で第58回神戸市中学校選手権大会の準決勝、決勝が行われました。

この日は梅雨の合間の蒸し暑い天候のなか、準決勝で御影中を2-1で破った本庄中と、同じく準決勝で西神中を3-2で破った平野中が決勝に駒を進めました。

決勝は本庄・平野の両校とも一進一退の好ゲームを展開。両者得点できず0-0で終了し、延長に入ってもゴールを割れず0-0で終了。この結果、両校優勝で幕を閉じました。なおPK戦により第1代表は本庄中となりました。

両校はこの後行われる県大会に出場します。



くろーずあっぷ

16歳でJリーガーに! 神戸出身の香川真司選手に注目!

今年、高校2年生(16歳)でセレッソ大阪とプロ契約し、小学生の頃からの夢だったJリーガーとなった神戸市出身(神戸NKサッカークラブ~FCみやぎバルセロナジュニアユース)の香川真司選手(1989.3.17生まれ、17歳)に話を聞きました。



・憧れのJリーガーになった感想は?

香川:小学生の頃からの夢だったのでJリーグからのオファーが来たときは率直に嬉しかったです。小・中学生の頃は鹿島アントラーズの大ファンでした。特にジーコが好きでした。

・高校2年生でJリーガーとなりましたが、高校卒業を待たずに加入しようと思ったきっかけは何ですか?

香川:一番は地元に近いところでプレーできることです。(契約当時)高2だし、親に近いところでサッカーをした方が、親孝行になるし、地元に戻って出身チームに恩返しできることもあるし、地元には支えてくれる人もいっぱいいるし。もう一つ大きかったのは、レベルの高いところでプレーしたかったということです。セレッソのスカウトさんから、最初に話があったときは、もちろん「まだ高2だし…」とは思いましたが、そういう評価してくれるということは、非常に有り難かったので戸惑いは無かったです。中学に上がる時に、みやぎバルセロナのジュニアユースにサッカー留学をしたので、自分としてはより高いレベルでサッカーができるという部分では特別なことでは無いです。ちなみに、FC東京からは「ユースでもプロ契約でもどっちでも好きな方で…」とオファーがあって、凄く嬉しかったんですけど(先述の理由で)セレッソにしました。ちなみに、ヴィッセル神戸からは無かったです…。

・小学生の同じチームの先輩、森島康仁選手も入団しましたが?

香川:知ってましたけど、僕が中学校2年の時にクラブユースの大会でセレッソと同じ宿舎だったのですが、その時に森島君もいて、軽く話したくらいですね。小学校時代は名前は知っていたし、顔は見たことが有ったくらいで、仲が良いという感じでは無かったです。森島君は小学校の頃から有名でしたね。同じチームの先輩がいるということは、僕も入りやすいし、しゃべりやすいので良い先輩です。明るいやですよ。(ちなみに、セレッソジュニアユースで同期だった選手は口を揃えて、「森島君は、とにかくデカくて怖い」と言っていました…)

・中学で神戸を離れて宮城に行きましたが何故ですか?

香川:ハッキリ言って、神戸であまり良いチームが無いとい

うか…(苦笑)僕に合ったチームが無いなあと思っていたら、たまたま、みやぎバルセロナの監督さんが神戸出身で、神戸NKの監督と仲が良く、FCみやぎに入る前(5年生の時)に一度練習を見に行くことになって2週間ほどいたのですが、かなり面白いサッカーをしていたのでね…個を伸ばして…という指導法で、そういう個性的なチームに行ってみようというのがあったので。サッカー以外の面でも、監督さんがしっかり教育してくれたのも良かったです。ただ、まだ小学生だったので、人間性どうこうという所はよく分からなかったんですけどね。とにかく、サッカーでプロになりたいという気持ちが強かったです。「FCみやぎに行ったら、プロになれるんちゃう?」って言われたから決めたって感じです。

・プロになりたいと思ったのはいつ頃からですか?

香川:なりたいたいと思ったのは、サッカーを始めた時(幼稚園の年長か小学校1年生)からですね。ただ、小学校の頃は夢のような感じで「なりたいたいなあ〜」って思っただけですけど、高校生になった頃に「絶対になるんだ」という強い気持ちに変わってきました。



・全く環境の違う宮城に行って戸惑いは無かったですか?

香川:結構田舎やなあ〜って感じでしたね。最初の1~2週間は寂しいと思いましたけど、段々なれました。印象は「寒い!」です。サッカーの環境としては設備も良かったです。ただ、学校が全く別なので大変でした。中学は30分位の距離だったのですが、高校は15~6kmも有るところに自転車で行って、練習場までは、そこからまだ40分位有って、そこから寮に帰るのに20分位有ったので、一日35km位はチャリを漕いでましたね…(笑)ただ、それが良いトレーニングになっていたのか、足腰が鍛えられました。

・プロになって、これまでとの練習環境の違いは?

香川:これまで、練習場は土だったし、クラブハウスなんか有るわけ無いし、夜の10時頃まで練習だったので、寒くて暗いなか自転車で行って、洗濯して、飯食って、風呂入って…ってしてたら12時位になって寝るといった生活でしたから、プロは全然違いますね。かなり良いです。何と言っても自転車ですぐの所に寮が有るので、練習を終えて帰ったら、良い時間にちゃんとお飯が有ると、ユニフォームとかが揃っているし、スパイクも持って帰らなくて良いし。そうそう、スパイクもチームがミズノと契約しているので、ミズノだったら買わなくて良いですし。

・FCみやぎバルセロナでは、ナショナルトレセンやU-15代表に選ばれていますが、参加した感想はどうですか?

香川:初めて選ばれた時は、めっちゃ緊張しました。でも全国から来た人たちと一緒にやってみて、全然やれると思

ました。自信が付きましたね。日本代表でもやっていけるって気持ちもありました。同じ学年で言えば、ヴェルディの森本がいますが、彼はヤバイですね。一緒にプレーしたことは無いのですが、テレビとかで見てても凄いですよね。



形式です。勉強は苦手ですけどね(笑)

・神戸の子供達に。夢を叶えるため(プロ選手になるため)には何が必要ですか?

香川:夢を常に持ち続けることと、夢に向かって努力することです。

・練習が嫌になったり、サッカーを止めようと思ったことはないですか?

香川:無いです。夢を叶えるんだって気持ちで取り組んだら、どんなことも苦にはならないです。とにかくサッカーが好きだし、Jリーガーになりたいという気持ちが強かったの。

・小学校時代、チームの練習以外の時間はどうしてました?

香川:近くに公園があったので、そこでずっとサッカーしてました。リフティングしたり、みんなでゲームしたり。ストリートサッカーが僕の原点で、それが有ったから今があるとっています。とにかくボールと一緒にいました。

・プロとして練習が始まりましたが、どんな感想ですか?

香川:まだ体力的にもフィジカル的にも付いていけない所があるのですが、それは徐々に付いてくると思います。技術的にはやれるという気持ちはあります。足りないところをドンドン鍛えていきたいです。

・まだ高3なので、勉強もしながらになりますか?

香川:時間が空いている時にやっています。通信制なので、自習

ふりーきっく

第18回神戸家庭婦人ユースカップ、優勝はバンヴェール兵庫

女子

平成18年7月2日、第18回神戸家庭婦人ユースカップ準決勝/決勝が、途中降りしきる雨の中、新しい森グラウンドにて行われた。決勝は、バンヴェール兵庫(前年度2回戦敗退)がトパーズ神戸(前年度1回戦敗退)に2-0で勝利し、優勝を飾った。両チームとも、昨年の悔しさをはらす結果を残した。

3位決定戦は、神陵台ポッカーズ(前年度1回線敗退)が神戸FCマミーズ(前年度準優勝)をPK戦の末破った。

トパーズ神戸	2	0
神戸FCマミーズ	0	0
多井畑キャロット	0	2
木津ベッカーズ	0	0
神陵台ポッカーズ	1	0
北五葉ウイング	0	3
バンヴェール兵庫	0	4



は一ふたいむ

指導者永年功労者表彰

<30年表彰者>

村田 文夫(神戸FC)、大木 靖(神戸NKSC)、山崎 義明(みさきSC)、山上 博也、長田 大三郎(東舞子SC)、真柴卓也(北須磨少年SC)、岡本 利一、位田 清澄(高倉台SC) 浅野 正倫(ひよどり台SC)、竹中 正明(KFA)

<20年表彰者>

四方 芳久(コスモFC)、松永 剛信(神陵台SC)、中原 桂二(西神SC)、石川 敏勝(若草少年SC)、桜川 論、岸 求一(高倉台SC)、塩見 元(神の谷FC)、阿部 満昭、中川 勉(西須磨SC)、小山 満、小宮 善和(北五葉SC)、畑中 昭洋(八多SC)、飯島 伸朗(夢野SC)、久田 智寛(小部キッズFC)、中住 一男(木津SC)

<10年表彰者>

長谷川 博也、小山田 正男、大原 高明(コスモFC)、古本 泰造、川本 義男、岸 哲生(本庄FC)、林 浩平(新多聞SC)、北野 安伸(マリノFC)、木嶋 利正(有瀬SC)、谷井 良三、山本 博史(井吹台SC)、松本 憲悟(ヨーケンFC)、天京 克幸、谷川 健司(白川SC)、青木 正二(若草少年SC)、藤田 文雄

(高倉台SC)、佐々木 嘉政(SNSC) 藤本 英樹、大江 健一、本城 亨男(北五葉SC)、出口 雅広、為田 信雄、西岡 達雄(FCウイングス)、西川 博也(箕谷SC)、末長 篤、児玉 健二(押部FC)、坂岡 輝彦(桜の宮SC)(順不同、敬称略)

受賞者のみなさま、おめでとうございます。これからも更なるご指導をお願いします。

